

講義資料

情報化時代を迎えた中東
——グーテンベルクからザッカーバーグまで——

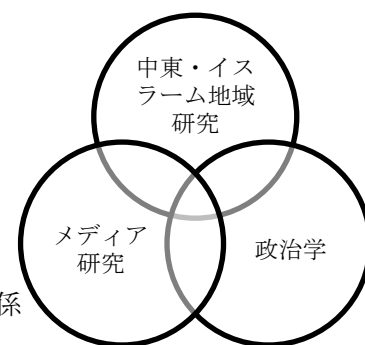
公立小松大学
千葉悠志

概要

活版印刷が登場した頃から、中東地域は欧米で発明された情報技術を一方的に消費する側へと回るようになった。現代社会は、しばしば「メディア社会」や「情報社会」などと言われる。欧米や日本と比べて、中東の情報化は遅れていると思われることもあるが、必ずしもそうとは言えない。むしろ、世界的に見ても多チャンネル化が進んだ地域であり、また国によっては欧米や日本以上にネットや SNS が普及している。本報告では、中東における情報化のプロセスや、そこに見られる特徴、またメディアとイスラームとの関係などについて考えてみたい。

0. はじめに

- 自己紹介、研究について（3つの専門領域）
- 本報告のアプローチ
- メディアやコミュニケーションに関する研究について
 - 新聞学、ジャーナリズム研究、（マス）コミュニケーション研究、メディア論、メディア史、メディア研究…
 - 技術や媒体の置かれた文脈への視点、メディアと社会との関係
 - 中東・イスラーム地域におけるメディア
 - 本報告について、出典（基本的にレジュメ末尾に掲載の拙文をもとに構成）



1. 中東地域における「近（現）代的メディア」の受容とその特徴

- 近（現）代のメディア
 - 一般にはグーテンベルクの活版印刷術以降の情報通信「媒体」
 - 複製技術に基づく出版、雑誌、新聞、電信、映画、ラジオ、テレビ、衛星放送、インターネット、SNS 等々を中東（20 世紀初頭以前は歴代のイスラーム王朝）が受容…「欧米（日）でつくられたものを一方的に受容する（だけの）地域」というイメージの形成？≡中東・イスラーム地域の後進性のイメージとの関連性
 - 印刷による複製技術が広がった社会、文字文化の広がり
 - ☆ 「グーテンベルクの銀河系」¹
 - 伝統的なメディア論では、「声の文化」と比べた場合に「文字の文化」では直線的・論理的思考が重視される傾向にあると考えられている、官僚制
 - 「印刷された言葉」≡「ナショナリズムの設計主」（M.マクルーハン）
 - 「想像の共同体」（B.アンダーソンの出版資本主義の議論²よりも早い）

- いわゆる従来の「メディア論」的な視点から見ていくと、近現代以降の中東・イスラーム地域は単なる事例に過ぎなくなってしまう
- 中東・イスラーム地域からメディアを考えることの意味
 - 「上からの視点」からだけでは見えてこない興味深いことが見えてくる（はず）

余談 「技術的進歩」⇔「社会の進歩」という思考の枠組みとメディア論

- マルクス主義とメディア論との近さ³
 - マルクス主義者→メディア論者というパターンも（例：M.ポスター、R.ドゥブレ等）
 - 生き残った基底論／決定論的な見方
 - 情報通信技術の発達⇔より発達した社会
 - ☆ いわゆる情報化に乗り遅れた（はずの）中東は遅れた社会という思い込みに？

2. グーテンベルクを取り入れイスラームを紡ぐ

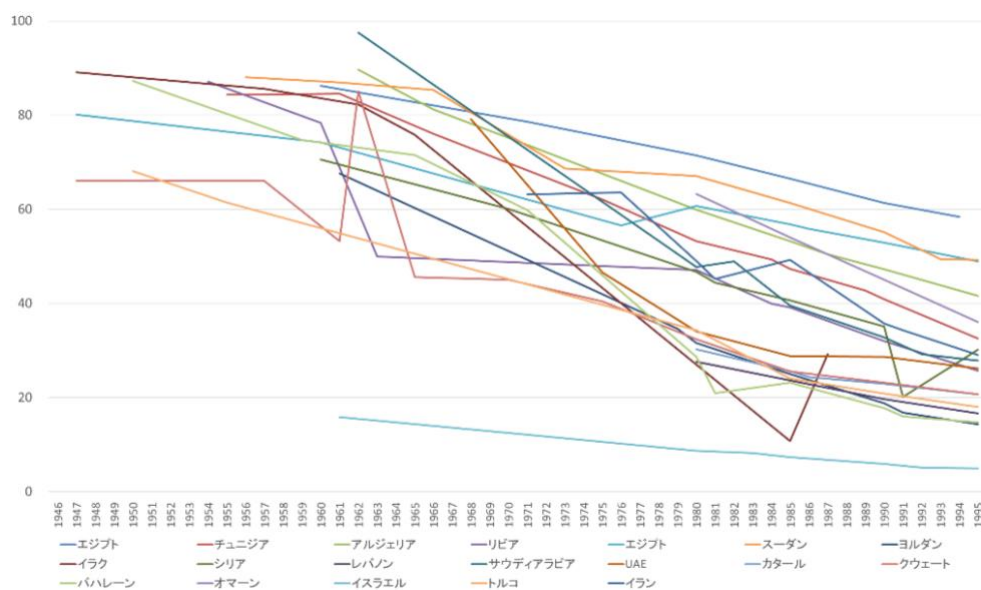
- イスラーム史における「異物」受容に見られる特徴
 - いわゆる「外側」からもたらされたものを「内側」に取り入れる過程での反応
 - ☆ イスラーム的に見てそれが問題のないものかどうかが議論されてきた経緯
 - ☆ イスラーム法学者の判断が割れても、社会に受け入れられることで定着の例
 - コーヒーの場合、それ以外でも
 - グーテンベルクの活版印刷（15世紀半ば頃～）
 - ☆ イスラーム教徒たちの受容は遅れる
 - イスラームという宗教的な要因というよりも、むしろ①既に発達していた書写業の存在（ある産業が栄えている場合には新規技術の導入が遅れることは往々にして起こりうる）、②初期の複製技術の印字技術の低さ（クルアーンを印刷するには美的な要素が欠如）、等々⁴
 - ☆ 中東地域における印刷所の発達は実質的には19世紀に入ってから
 - ナポレオンのエジプト遠征以降、1820年代半ばのブーラク印刷所
 - 印字技術の改良、書籍だけでなく、雑誌（majalla）・新聞（ṣaḥīfa、jarīda）の発行（エジプトとレバノン、ただし役割は異なる）
 - 1910年代頃からジャーナリズム（ṣiḥāfa）という用語を関した書籍も
 - 西欧的近代化の模索
 - ☆ 20世紀半ば頃までの中東では「近代化」⇔「西欧的近代化」
 - ☆ 学校教育（制度）の発達…印刷されたテキストでの教育、非宗教教育
 - ☆ 「世俗化」の進展
 - 「グーテンベルク」の受容・浸透過程…たしかに「ナショナリズムの設計主」となり「想像の共同体」たる国民を生み出した側面はあると思われる
- だが同時に…
 - 19世紀末～20世紀初頭にかけてのイスラームの思想家たち
 - ☆ J.アフガーニー、M.アブドゥ、R.リダー等による『固き絆（ウルワ・ウスカー）』『灯台（マナール）』の発行

- ☆ 20 世紀半ば以降のいわゆるイスラーム復興に至る知的水脈の形成
- ☆ 「ナショナリズムの設計主」を「ウンマの設計主」に変換しようとする試みである」と評することができるのでは？
- 最近の研究
 - ☆ 1970 年代の雑誌とイスラーム復興⁵、カセットとイスラーム的音空間の研究⁶
 - ☆ 宗教復興を促すメディア環境の形成（ブックレット、ラジオ、カセット、CD、テレビ、衛星テレビ放送等）

3. 中東における情報化の動向

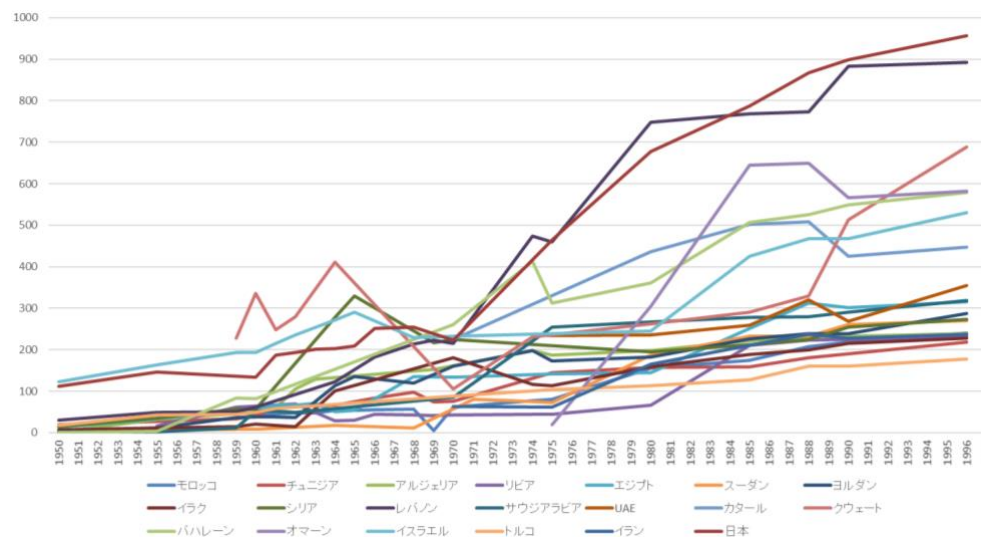
- 「新たなメディア」に対する（宗教的）反応
 - イスラームを理由とした反発があったことは確か
 - ☆ 電信…サウディアラビアでは異なる地点でクルアーンが伝わるかどうか確認
 - ☆ 映画…偶像崇拝に抵触しないか⇔エジプトを中心に映画産業が発達
 - ☆ ラジオ…1920 年代半ば以降に発達。湾岸諸国の場合は 1940 年のイギリスによって行なわれた対ナチ用のものがその嚆矢か。一般的には、中東でラジオ放送が政治利用されるのは 1950 年代以降（ナセルの時代）以降のことで、それまではラジオからはクルアーン放送が流されるなど…近代化の象徴としてのメディア&保守派への配慮
 - ☆ テレビ…サウディアラビアでは 1960 年代にテレビ放送を開始しようとしたときに、反対派がテレビ塔立てこもり事件
 - 当時皇太子位にあったのちのファイサル国王は、テレビが「宗教、国家、国民に貢献するもの」だと強調し、1962 年にその開始を宣言
 - ☆ 改革派と保守派の間で
 - しかし、総じてどのメディアも中東諸国で普及していった
 - 新たなメディア、テクノロジーを「イスラームの教えから外れていないか」を常に確かめようとする動き
 - では中東ではイスラームによりメディアの導入・発達が遅れ？←否では？
- 1970 年代以降の状況
 - 湾岸産油国の独立、石油戦略の発動による経済力の高まり
 - ☆ ラジオやカセットテープ、テレビなどの普及率が高まる
 - 中東地域におけるメディア導入の遅速は、宗教というよりも、むしろ各国の経済状況からより大きな影響を受ける傾向にあることが予想される

図 1：中東諸国における非識字率の変遷（1946～1995 年）



（出典）各種資料をもとに報告者作成⁷

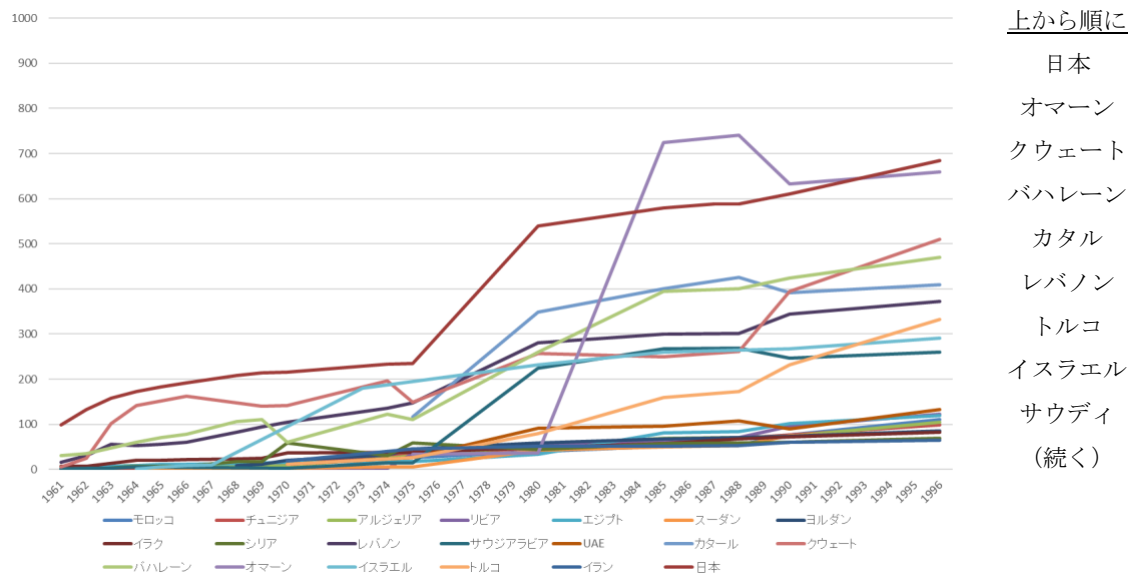
図 2：中東諸国における 1000 人あたりのラジオ受信機数の変遷（1950～1996 年）



上から順に
日本
レバノン※
クウェート
オマーン
パハレーン
イスラエル
カタール
UAE
サウディ
（続く）

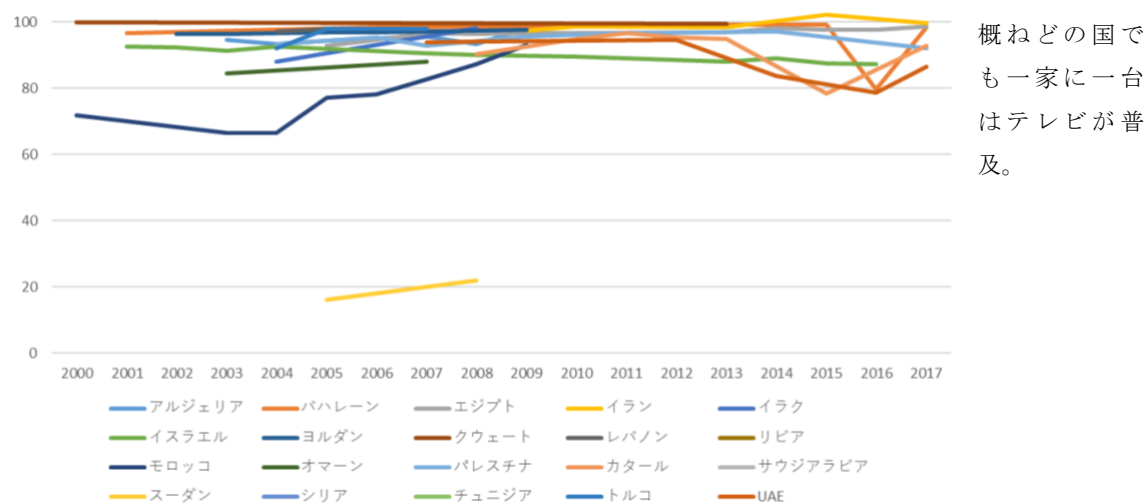
（出典）各種資料をもとに報告者作成⁸

図 3：中東諸国における 1000 人あたりのテレビ受信機数の変遷（1961～1996 年）



(出典) 各種資料をもとに報告者作成⁹。

図 4：中東諸国におけるテレビ受信機の世帯所有率の変遷（2000～2017 年）



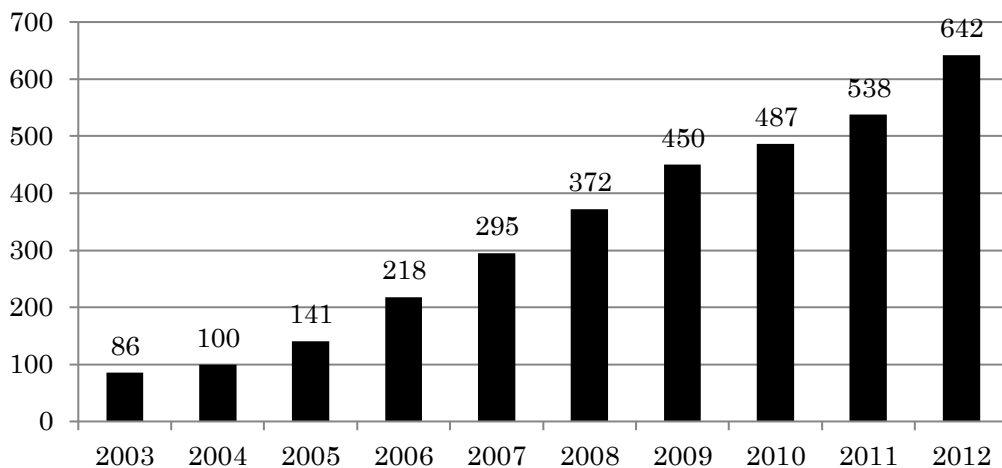
(出典) 各種資料をもとに報告者作成。

→経済的に豊かな国であれば、その分だけラジオやテレビの普及などは進んだ。湾岸諸国は他の中東諸国と比べて保守的な傾向が強いが、ラジオやテレビに普及率には関係ない

4. 衛星放送とインターネット——超多チャンネル・多メディア社会の形成

- 衛星放送の急速な発達（とくにアラブ諸国）
 - 1990年代以降に衛星放送が普及、チャンネルの急激な増加
 - 要因： アラビア語という共通言語、政治的な対抗心、権威主義体制下における「自由な」情報への渴望、国境を超えた放送ビジネス等々

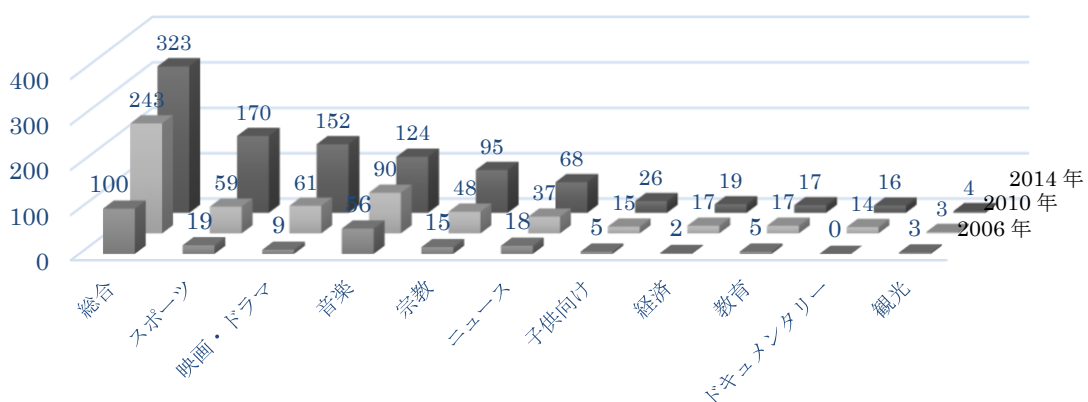
図5：アラブ世界の主な無料（free-to-air）衛星チャンネル数の変遷



（出典）千葉悠志『現代アラブ・メディア——越境するラジオから衛星テレビへ』ナカニシヤ出版、2014年

- 放送空間の細分化
 - 専門チャンネルの増加
 - 専門チャンネルのなかでは、宗教はスポーツ、映画・ドラマに次いで数が多い

図6：衛星テレビ・チャンネルの主要ジャンルとチャンネル数の変遷（2006-14年）

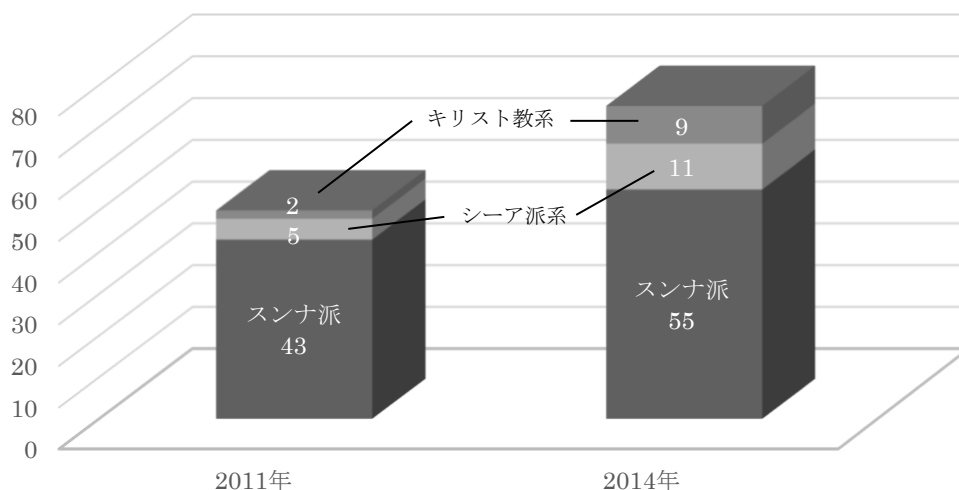


（出典）千葉悠志「宗派問題のメディア的基層——画期としての衛星放送時代」酒井啓子編『現代中東の宗派問題——政治対立の「宗派化」と「新冷戦」』晃洋書房、2019年

- 放送空間の分極化

- もとものの「違い」を反映して形成された側面もあるだろうが、チャンネルがあることによって「違い」が意識されたり可視化されたりする側面もあるのでは？

図 7： 無料の宗教専門衛星テレビ・チャンネルの内訳と変化

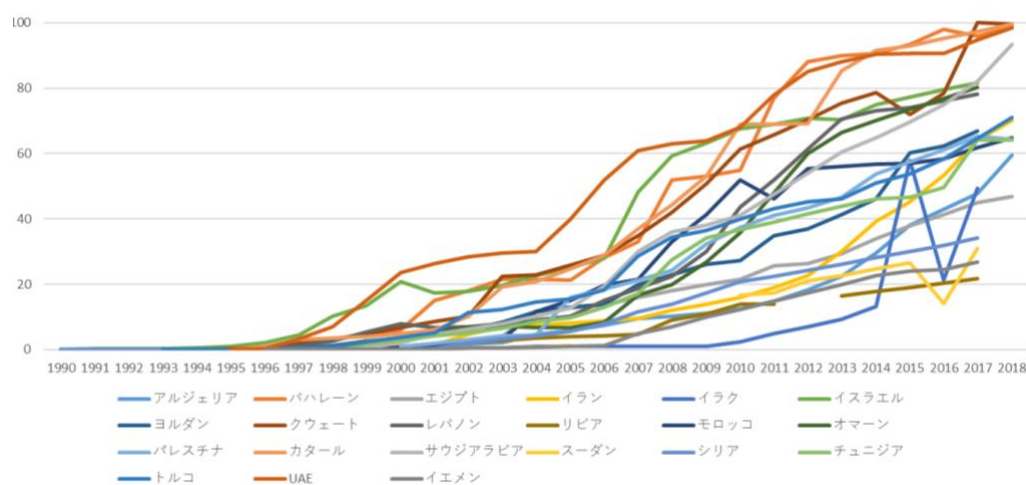


(出典) 千葉悠志「宗派問題のメディア的基層——画期としての衛星放送時代」酒井啓子編『現代中東の宗派問題——政治対立の「宗派化」と「新冷戦」』晃洋書房、2019 年

- インターネット

- 2000 年代に入ってから各国で普及
- SNS の普及、「アラブの春」で勢いづく

図 8： 中東諸国におけるインターネット利用ユーザー率の変遷（1990～2018 年）



(出典) ITU のウェブサイト (<https://www.itu.int/>) で示されたデータを参照。

- SNS ユーザー

- 2022 年に Meta 社（旧 Facebook 社）が示したデータによると、Facebook の登録者の割合が多い上位 10 か国のうち、半分が中東の国に、さらに東南アジアも含めれば 7 割がムスリムの国々によって占められている
 - ☆ ①バチカン、②UAE、③カタール、④ブルネイ、⑤バハレーン、⑥クウェート、⑦台湾、⑧ジョージア、⑨リビア、⑩マレーシア。なお参照したデータでは、グアムやオランダの構成校のひとつであるアルバなども含まれていたが、それらはここでは省いた。
 - ☆ ムスリムがより SNS を好むかもしれないが、ムスリムが多数を占める国でもそれほど SNS の登録割合が高くない国もあるため、基本的には国の経済力とより関係性があるのかと思われる

5. メタバースとイスラーム

所属先の紀要に投稿中の内容を一部紹介（2022/2-3 月刊行予定）

- メタバースに賭ける中東産油国
 - メタバース…メタ（超）＋ユニバース（宇宙）の造語。SF 小説に由来する言葉。オンライン上に構築された三次元の仮想空間とそこでのサービスを指す
 - メタバース・ブームの背景
 - ☆ 技術の発達、新型コロナウイルスの世界的蔓延、Facebook 社の改名
 - ☆ もっともブームで終わる可能性も十分にあるが…
 - 中東諸国
 - ☆ 2022 年 7 月：「ドバイ・メタバース戦略（Dubai Metaverse Strategy）」…5 年以内にメタバースやブロックチェーン¹⁰に関する企業数を現在の 5 倍に増やし、そしてこれに関連する 4 万の雇用と 40 億ドルの経済効果を生み出すと宣言¹¹
 - ☆ 2022 年 8 月：デジタル技術を含む先端技術分野に 64 億ドルの投資を決めていたサウディアラビアも、このドバイの動きに対抗し、メタバース分野にさらに 10 億ドルを追加投資すると発表
 - 今後 10 年間でこれが中東経済にもたらす経済効果は 3,600 億ドルに達するという試算もある¹²
 - ☆ インドネシアやマレーシアなどでも
- メタバースに対する反応（とくに宗教的なもの）
 - 一部では批判…人々を没頭させる、他
 - ただし、それ以前のメディア（とくにテレビとインターネット）受容の経験からメタバースを受け入れる傾向に…おそらく批判の少なさの理由はここにある
 - メタバース内でのアクティビティに対して（礼拝、巡礼、アバター）
 - ただし、仮想空間内でやり取りされる仮想通貨に対しては慎重な姿勢も
- 3 次元的仮想空間内での「イスラーム的」を求めて

写真 1 セカンドライフ上につくられたモスクを訪れる筆者のアバター



(出典) セカンドライフの筆者のアカウント画面より

写真 2 ムスリム 3D 上につくられたカアバ聖殿を見つめる筆者のアバター



(出典) ムスリム 3D 内の筆者のアカウント画面より

- 今後の「メタバース」のあり方へと中東・イスラーム地域が与える影響について

6. おわりに

- いかにメディアが根付くのか…中東・イスラーム地域ならではの特徴が反映される
- 技術と社会の相互作用のなかで展開されていく「メディア文化」の多様性
- 情報化に「遅れた」中東というのは単線論的思考に基づく。「技術」対「宗教」の問題
- 過去の経験を踏まえて形成される中東・イスラーム地域のメディアのあり方や特徴

※本報告は以下の拙稿の内容を大まかにまとめたものです。

- 千葉悠志『現代アラブ・メディア——越境するラジオから衛星テレビへ』ナカニシヤ出版、2014 年。
- 千葉悠志「宗派問題のメディア的基層——画期としての衛星放送時代」酒井啓子編『現代中東の宗派問題——政治対立の「宗派化」と「新冷戦」』晃洋書房、pp. 105-125、2019 年。
- 千葉悠志「中東地域における情報社会の展開とその歴史的基層に関する研究」『電気通信普及財団研究調査助成報告書』第 36 号、p. 1-10、2021 年。
- 千葉悠志「湾岸系放送局の歴史と構造——政治との関係性に着目して」近藤洋平編『アラビア半島の歴史・文化・社会』東京大学中東地域研究センター、pp. 197-210、2021 年。
- 千葉悠志・安田慎編『現代中東における宗教・メディア・ネットワーク——イスラームのゆくえ』春風社、2021 年。
- 千葉悠志「ムスリムはメタバースの夢を見るか？——中東・イスラーム地域におけるメディア受容の一局面」『国際文化』5 号、2023 年（刊行予定）

¹ マーシャル・マクルーハン（森常治訳）『グーテンベルクの銀河系——活字人間の形成』みすず書房、1986 年（英語初版は 1962 年）。

² ベネディクト・アンダーソン（白石隆・白石さや訳）『定本 想像の共同体——ナショナリズムの起源と流行』書籍工房早山、2007 年（英語初版は 1983 年）。

³ 佐藤卓己『ヒューマニティーズ 歴史学』岩波書店、2009 年

⁴ このあたりの議論は以下が詳しい。（小杉泰・林佳世子編『イスラーム 書物の歴史』名古屋大学出版会、2014 年、竹田敏之「アラブ世界における出版技術の発展とクルアーン刊本化」千葉悠志・安田慎編『現代中東における宗教・メディア・ネットワーク——イスラームのゆくえ』春風社、2021 年）

⁵ Aaron Rock-Singer. 2019. *Practicing Islam in Egypt: Print Media and Islamic Revival*. Cambridge University Press.

⁶ Charles Hirschkind. 2006. *The Ethical Soundscape: Cassette Sermons and Islamic Counterpublics*. Columbia University Press.

⁷ 1990 年に統一を果たした南北イエメン、データが少なかったパレスチナは表中から除いた。基本的には 15 歳以上を対象としたセンサスの結果に基づくものであることが多いが、一部の国、一部の期間では 10 歳以上を対象としたデータも含まれる。また、中東各国の識字率／非識字率は、都市部／非都市部、男性／女性で分けられて示されていることも少なくないが、ここでは各国の平均値を用いた。

⁸ 1990 年に統一を果たした南北イエメン、データが少なかったパレスチナは表中から省いた。なお、比較として日本のデータも加えている。

⁹ 1990 年に統一を果たした南北イエメン、データが少なかったパレスチナは表中から省いた。なお、比較として日本のデータも加えている。なお、中東では平均世帯人数が日本や欧米などと比べて多いことから、後述するように 1990 年代以降になるとおおそ一家に一台近くのテレビ所有率が実現するほどまでにテレビ受信機数が増えていたことが分かる。

¹⁰ 分散型台帳技術なども訳され、改竄への耐性を備えた情報を記録する一種のデータベース技術。

¹¹ Marco Quiroz-Gutierrez. (2022) “The Crown Prince of Dubai Says He Has ‘Metaverse Strategy’ That Will Add 40,000 Jobs and \$4 Billion to the Economy in 5 Years,” *Fortune*, 22 July 2022 (<https://fortune.com/2022/07/19/dubai-metaverse-strategy-crypto-emerging-tech-web3/>, accessed on 23 October 2022).

¹² *Arab News*. (2022) “Metaverse to Add \$360bn to MENA’s GDP over the Next Decade,” 4 October 2022 (<https://www.arabnews.com/node/2174936/business-economy>, accessed on 23 October 2022).